



概要

氏名 石原 昌一
推薦団体 熊本県文化協会
主な活動地 県内各地

石原 昌一
いしはら しょういち

本賞

石原昌一氏は、彫刻家として、県内各地の公共施設等に

に数多くの優れた彫刻作品を提供してこられました。

そのなかでも、鞠智城のモニュメント「温故創生の碑」や、熊本市中央区高橋公園の「横井小楠と維新群像」、JR熊本駅新幹線口の「おてもやん」など、熊本の歴史と文化を象徴する作品を制作され、訪れる方々に誇りと感動を与えています。氏が制作された県内の屋外彫刻作品は、三十五点にのぼります。

また、氏が中心となって、毎年「手で見る造型展」を開催し、盲学校の子どもたちや視覚障がいがある方々に立体造形美術の鑑賞機会を与える活動をしてこられました。

さらに、これまで大学教授として、多くの美術教員や芸術家を指導育成するとともに、熊本県文化協会・文化懇話会の副会長や熊本県美術協会会長を歴任するなど、芸術文化の普及発展に貢献してこられました。

このように、氏は、彫刻作品の制作活動や後進の育成を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

昭和三十八年 第二十九回白日展 『立つ』 日文賞受賞

昭和三十九年 第四十回白日展 『沈黙』 白日賞受賞

昭和五十九年 第十六回日展 『湖風』 特選受賞

昭和六十年 熊本大学教育学部教授就任

第十七回日展 『樹間』 特選受賞

『おてもやん』制作（当時：熊本市交通センター広場）

第二十回熊本県文化懇話会賞受賞

平成二年 第四十五回熊日総合美術展 『湖畔』

推薦作家賞受賞

平成六年 『山鹿灯籠娘』制作（東京熊本銀座館）

平成八年 『温故創生の碑』制作（鞠智城）

平成十二年 『横井小楠と維新群像』制作（熊本市

中央区高橋公園）